

期末テストでも100点をとってしまおう

開倫塾

塾長 林明夫

学校の生徒・学生の「仕事」は「勉強をすること」です。「仕事」をきちんとしたかどうかは、「結果」で評価されますが、学校の生徒・学生の場合は、「定期テスト」で何点をとったかが評価の基準です。

最も高い評価が与えられるのは「満点」つまり「100点」をとった場合です。定期テストで100点をとるということは、生徒・学生にとってはきちんと「勉強という仕事をした」証拠となるものです。生徒・学生の皆さんが、定期試験で100点満点を目指し、勉強すべきなのは「勉強する」という「自らの職業」をまっとうする意味からも重要です。

1学期の期末テストで全科目とも100点をとることは簡単です。準備さえ今から2～3週間すれば開倫塾の塾生の皆さんであれば誰でもできます。なぜなら、各科目とも、1学期末試験は、教科書の一定ページからしか出題されないからです。しかも、多くの科目が、5月下旬から6月初旬に行われた中間試験の次の範囲からしか出題されませんから、テスト範囲のページ数がとても少ないのが通例だからです。内容も各科とも余り難しくありません。100点をとる最大チャンスが1学期の期末テストであると言っても言いすぎではありません。折角のチャンスなのでこの際、一所懸命勉強して全科目100点をとってしまいましょう。

具体的には次のように勉強してください。

実技4科目 音楽・美術・技術家庭・保健体育。(高校生の場合は、他の実技・実業科目も同じように考えてください。)

これらの科目は、ふつう生徒・学生は試験の直前しか勉強しません。もっと具体的に言うと試験の前の日しか勉強しないのが大部分です。担当する先生方もそのことをよく知っていますから、余りひどい平均点を出さないようにと、出題のレベル・内容は、教科書程度から一歩も出ません。「ノート」からしか出さない先生すらあります。このような科目こそ、期末試験2～3週間前から、教科書とノートの一語一句おぼえこむ態度での勉強をするだけで100点がとれます。本屋さんに行き問題集を買って勉強したら鬼に金棒です。実技・実業科目こそ早目の勉強が効果的です。

※作品の「期限内提出」は不可欠です。

先生は、何百人もの生徒の指導をしています。1学期の通知票をつけるとき参考にするのは「期末試験で何点とれたか」と「期限内にまともなものが提出されたか」だけです。どんなことをしてでも、提出期限内にいていねいにつくった作品を出してください。

「音楽」や「体育」なら「十分実技の練習」をしてから先生の前での「演技」をすることです。一回も練習しないで、いきなり先生のまえで「ぶっつけ本番」をすることは避けるべきです。「十分な練習」をしてください。音を出したり、歌ったりすることや、身体を動かして一つのスポーツをマスターすることは人生にとって意味深いことでもあります。絵や彫刻をかいり芸術作品を鑑賞すること、技術家庭で身のまわりの技術をマスターすることも、充実した人生を送る上で大切なことです。折角の機会なので、楽しみながら期末試験の勉強や作品の提出等もしてみてください。100点がとれたり、よい作

品が提示できれば、その科目がきっと好きになります。人生の喜びも増えるというものです。

理科 前学年の学校成績が 5 段階評価で 4 以下(つまり 5 をとれなかった人はすべて)なら、「学年別参考書」を期末テスト用の教材にすべきです。「学校の教科書」は期末テストで 100 点をとるには余りにも「難しすぎ」ます。「実験」や「観察」のポイントや「思考」のポイントしか書いていないからです。試験直前の教材としては、「学年別参考書」(高校生なら「分野別参考書」)でないと 4 以下の人は 100 点がとれません。期末試験の範囲は、中間試験の範囲の次のページから今なっている章の終わりまでですから、他の科目同様非常にページ数が少ないのでカチツとして勉強さえすれば、理科が「3」の人でも 100 点がとれます。この際、今まで理科が不得意だった人も、「学年別参考書」を覚えこむことによって、是非 100 点をとってしまってください。一度 100 点をとれば、理科も好きになります。

社会 教科書を 2～3 週間前からやるだけで十分です。参考書や問題集は、こと期末試験だけなら不要です。2～3 週間前から、学校の教科書だけ、ひたすら一語一句覚えこんでください。らん外の「注」や「表」、「地図」「年表」「図」もすべておぼえこむことがポイントです。「教科書」だけでいいですから、「深く狭く」徹底的に覚えこむこと。勉強のスタート時期はおそくとも期末試験の 2～3 週間前がポイントです。2～3 日前からやっても覚え切りません。

数学 「学校の教科書」を試験範囲について最底「6 回」やるだけで 100 点がとれます。これにプラスして、「開倫塾のテキスト」も「6 回」やれば万全です。開倫塾から大量の問題集がわたされますが、それらもこまめにやってください。どんな問題が出て大丈夫になります。

英語 「学校の教科書」の本文を、何も見ないで書けるまでにする、つまり「暗写」できるようにすることがまず 100 点をとる絶対条件です。次に開倫塾でわたされた問題集をくりかえし行い、一題もまちがえず書けるようにする。英語は書けなければ「点」になりませんので、書く練習を徹底的に行ってください。

国語 教科書本文を何十回、何百回も読み暗記してしまえば 100 点はもうすぐです。漢字書取を万全にし、開倫塾でおわたしする問題練習をして下さるだけで 100 点はとれます。

開倫塾では、この期末試験にそなえて、現在指導させていただいている科目につき 100 点がとってもらえるよう万全の準備をととのえました。ただ、塾でいくら教えさせてもらっても家で勉強しなければ、100 点はとれません。「勉強は絶対量」(学習時間)が大事だからです。何が何でも期末で 100 点をとってやるという執念をもって、机にむかい、「職業としての勉強」の結果を示してください。期待しております。